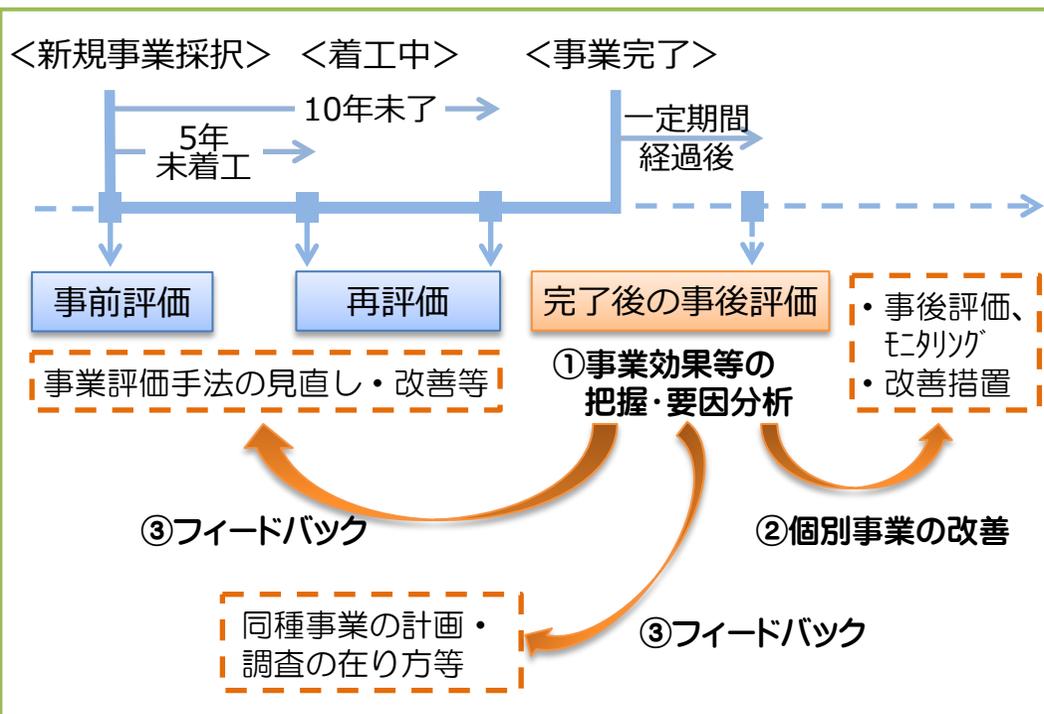


～完了後の事後評価の効果的な活用とその推進に向けて～

【検討概要】

- 完了後の事後評価※は、事前評価及び再評価とともに事業評価体系の一翼を担うものであり、社会資本整備の戦略的な取組を推進する上で重要な役割を有するもの
- 社会経済情勢の変化等への対応など、事業及び評価の実施に係るPDCAサイクルの推進を図るため、完了後の事後評価の効果的な活用方策等を検討

【※完了後の事後評価の役割】



【改善方策(有効な取組)】

- ① 事業効果等の的確な把握・要因分析
 - 事業効果を把握する費用便益分析の手法やデータの妥当性・客観性の確保
 - 費用便益分析では捉えることが難しい多様な事業効果の定量的な把握の推進
 - 事業実施上のリスクの視点を含めた事業効果の発現状況に関する要因分析の積極的な実施
- ② 個別事業への一層の活用
 - 第三者機関の効果的な活用や利用者ニーズの的確な把握による必要な改善措置等の促進
- ③ 同種事業への一層の活用
 - 推奨事例の蓄積や国・地方間の連携等による評価手法の改善等、フィードバックの促進

※平成29年度最終的な改善方策を取りまとめ予定

完了後の事後評価を効果的に活用し、事業及び評価の実施に係るPDCAサイクルを推進